



労働職業訓練省

カンボジア 労働人材

~WHY NOT
CAMBODIA?~



2024

協力：



カンボジア日本希望協会

目次

1. カンボジア労働職業訓練大臣のメッセージ.....	2
2. カンボジアについて.....	3
3. 海外で働いているカンボジア人労働者の統計:.....	5
4. なぜカンボジア?.....	10
5. MLVT によるカンボジア人技能実習生・特定技能者支援.....	12
6. カンボジア人技能実習生の日本への受け入れプロセス.....	13
.....	14
7. 日本の受け入れ企業とカンボジア人技能実習生・特定技能生の声:.....	15
8. カンボジア日本希望協会 (CJKA) について.....	17

1. カンボジア労働職業訓練大臣のメッセージ

1953年に外交関係が樹立されて以来、カンボジアと日本は外交、貿易、経済開発援助、文化交流など多岐にわたるパートナーシップを育んできました。日本は政府開発援助（ODA）を通じてインフラ、教育、医療、農村開発といったカンボジアにおける重要な分野の発展を支援してきました。2023年には、外交関係樹立70周年を迎え、両国の外交関係を「包括的戦略的パートナーシップ」という最高レベルに格上げをして祝いました。この70周年という節目において、両国間の友好関係は深い友情と相互尊重はとなり、永続しています。

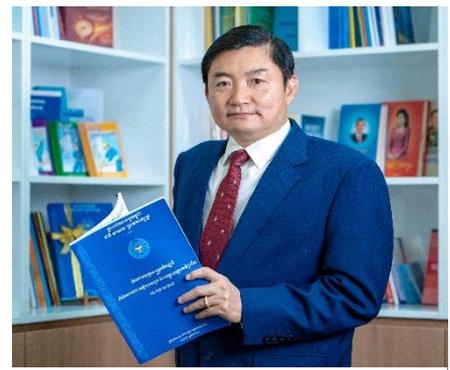
2000年から2002年にかけて、私は日本の一橋大学で留学して修士号を取得しました。この2年間は、私の人生において最も重要な転機の一つとなり、かけがえのない経験がたくさんできました。日本での生活は、私にとって刺激的で日々充実したものでした。自然とともに歩んできた伝統ある文化、茶道、陶芸などの芸術、そして日本料理の繊細な味に深く感動しました。特に、日本人の優しさとおもてなしには心を打たれました。どこへ行ってもみなさんは、笑顔で迎えてくれて親切に接してくれたおかげで私は現地のコミュニティの方たちと親しくなることができました。これらの経験を通じて、私は日本語を学び、現地のコミュニティとの繋がりを深めたいという強い思いを抱くようになりました。日本語を学ぶことであっての日本の文化をより深く理解することができ、地域の人々と交流することで、忘れられない多くの思い出を作ることができました。

また、私は在学中に在日カンボジア留学生協会（CSAJ）の会長を務め、後輩たちと共にボランティア活動など地域活動などへの参加し、グローバルビジネスをはじめ、先進技術や日本の優れた教育システム等について貴重な経験を積むことができました。あらゆる面で私を成長させてくれた日本は、第二の故郷となりました。

日頃より日本の方々にはやさしく接していただき、また心温まるおもてなしには心から感謝しています。私は両国の長年続く友好関係をつなぐ架け橋として、これまで以上に尽力する所存です。文化交流、人と人の交流、ビジネスパートナーシップ、そして投資機会の拡大に至るまで、その取り組みに幅広く貢献していきたいと思っています。

2023年11月、フン・マネット首相の指導のもと、カンボジア政府は、技能を持つ労働者の需要の増加に対応するため、「TVET 1.5M」プログラムを開始しました。このプログラムは、150万人の若者に様々な産業における質の高い職業訓練を提供することで、彼らがより良い仕事に就き、生活水準を向上させるための重要な機会となります。また、このプログラムは、カンボジア経済の競争力強化と持続的発展にも貢献することが期待されています。さらに、カンボジア政府は、海外で働くことによってカンボジア人労働者が獲得するスキルを高く評価しています。渡航先国の中でも、日本はカンボジア人労働者にとってますます人気のある国となっており、現在、約2万人のカンボジア人が技能実習生や特定技能実習生として日本に滞在し、働いています。

私は、労働職業訓練大臣として、日本への労働市場拡大が、カンボジアの人々にとって、貴重なスキルと経験を身につけ、帰国後にカンボジアの社会経済発展に貢献できる絶好の機会であると確信しています。カンボジア政府は、日本と連携して、質の高い技能労働者を日本へ送り出し、彼らが日本で貴重な経験を積み、キャリアパスを成功させるために支援していきます。改めて、日本の協力と支援に深く感謝申し上げます。今後とも、両国が互いに協力し、共に発展していくことを心より願っております。



カンボジア労働職業訓練省
HENG SOUR 大臣

2. カンボジアについて

カンボジアは、東南アジアのインドシナ半島に位置する悠久の歴史を持つ王国で、タイ、ベトナム、ラオスと国境を接しています。

1) 基本情報

- 首都：プノンペン
- 面積：約 181,035 平方キロメートル
- 人口：約 1690 万人（2023 年国連人口基金）
- 宗教：クメール人の大半が小乗仏教徒。その他イスラム教、カトリックなど。
- 政体：立憲君主制
- 公用語：クメール語
- 通貨：カンボジア・リエル (KHR)



カンボジア地図

2) 歴史

- 9 世紀から 15 世紀にかけて、クメール帝国がこの地を支配し、その時代に有名なアンコール遺跡群の建設。
- 19 世紀後半から 20 世紀半ばまで、カンボジアはフランスの植民地支配を受けた。1953 年に独立。
- しかしながら、1975 年から 1979 年の 4 年間、カンボジア王国はポル・ポト政権（クメール・ルージュ）による悲惨な内戦と大量虐殺が行われ多くの国民を失ったが、この暗黒時代から立ち直り、カンボジア王国は近年目覚ましい発展を遂げる。



春分の日アンコールワット朝日

3) 政治

- カンボジアは立憲君主制を採用し、国家元首：ノロドム・シハモニ国王。首相：フン・マネット。



左：現首相フン・マネット
中：元首相フン・セン
右：国家元首ノロドム・シハモニ国王

4) 経済

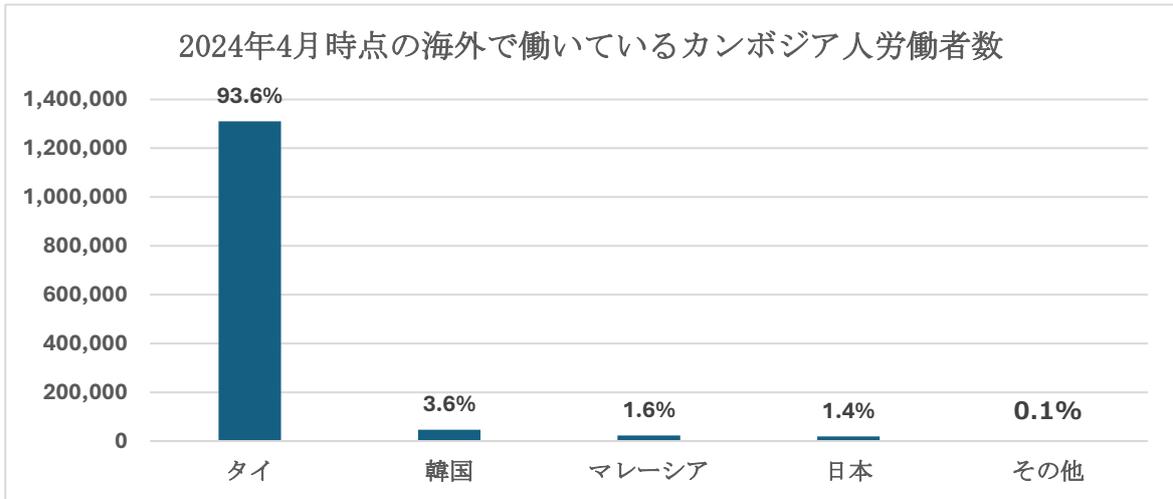
カンボジア経済は2004年から2007年までの4年間、10%を超える高い経済成長を記録し、GDPは一人当たり1,920米ドル（2023年、IMF推定値）達しました。しかし、サブプライムローン問題に端を発した世界同時不況の影響を受け、2009年の経済成長率は0.1%まで落ち込んだものの、翌年の2010年には6.1%にまで回復しました。2011年以降2019年までは、堅調な縫製品等の輸出品、建設業、サービス業及び海外直接投資の順調な増加により、年率約7%の安定した経済成長を続けています。2020年は新型コロナウイルスの影響を受けてマイナス成長となりましたが、2021年以降回復しつつあります。2022年、カンボジア貿易総額は前年比9.2%増の524億米ドルに達し、活発な経済活動を記録しました。輸出は225億米ドル、輸入は299億米ドルとなり、貿易赤字は74億米ドルとなりました。主要輸出相手国は米国、EU、ベトナム、中国、日本である一方で、主要輸入相手国は中国、ベトナム、タイ、シンガポール、日本です。世界景気回復とEUとのFTA発効で輸出が大きく伸び、経済成長の証である貿易赤字拡大もされています。課題は高付加価値製品の育成やサプライチェーン強化。日本企業にとっても大きなビジネスチャンスを秘めた市場であり、進出が期待されます。



プノンペン首都

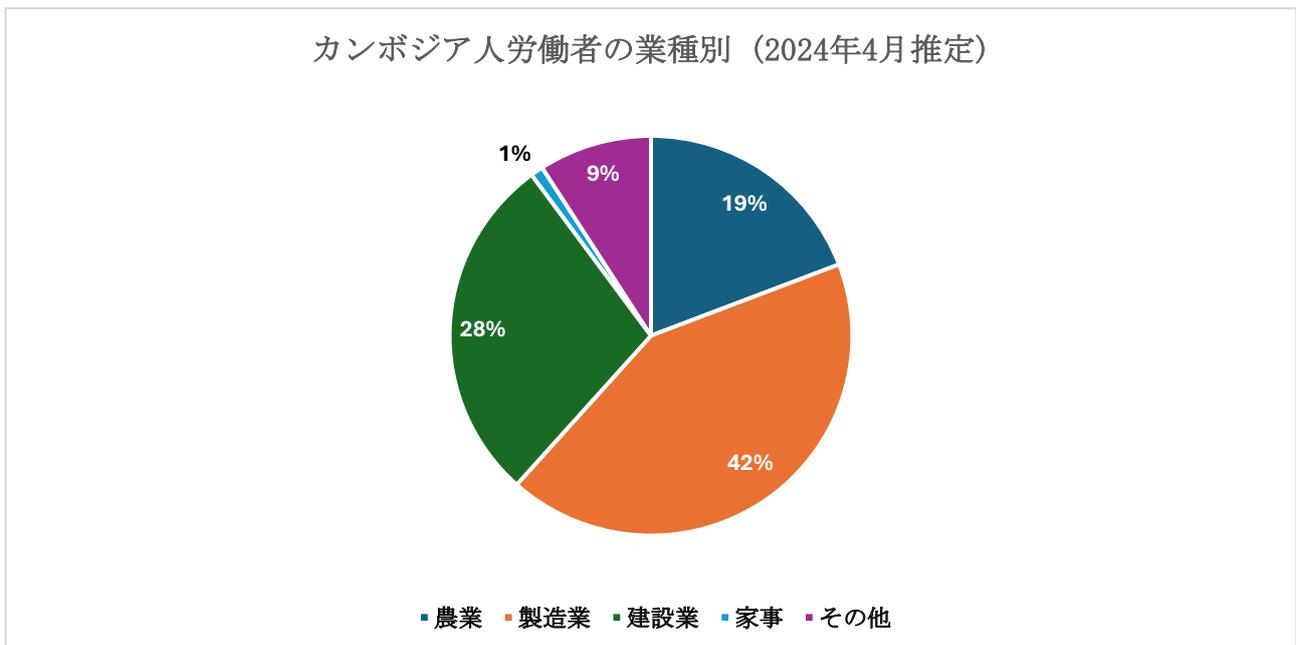
3. 海外で働いているカンボジア人労働者の統計：

① 2024年4月時点の海外で働いているカンボジア人労働者数



カンボジア人労働者は、2024年4月までにすべての受入国合計で約130万人となり、そのうち大多数の94%がタイで働き、韓国、マレーシア、日本、香港特別行政区やアラブ首長国連邦を含むその他の国で働いています。

② 海外で働いているカンボジア人労働者の業種別内訳 (2024年4月推定)

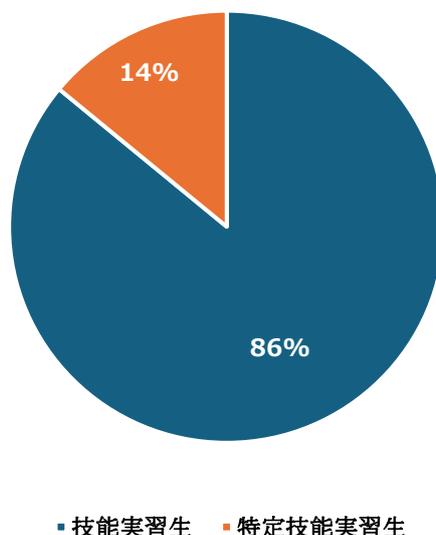


2024年4月時点で世界各国で働いている推定130万人のカンボジア人労働者は、以下の業種ごとに配分されています。

- 製造業：42%
- 建設業：28%
- 農業：19%
- 家事：1%
- その他：9% (運輸業、介護、漁業など)

③ 2023 年在日本カンボジア人技能実習生及び特定技能者の比率

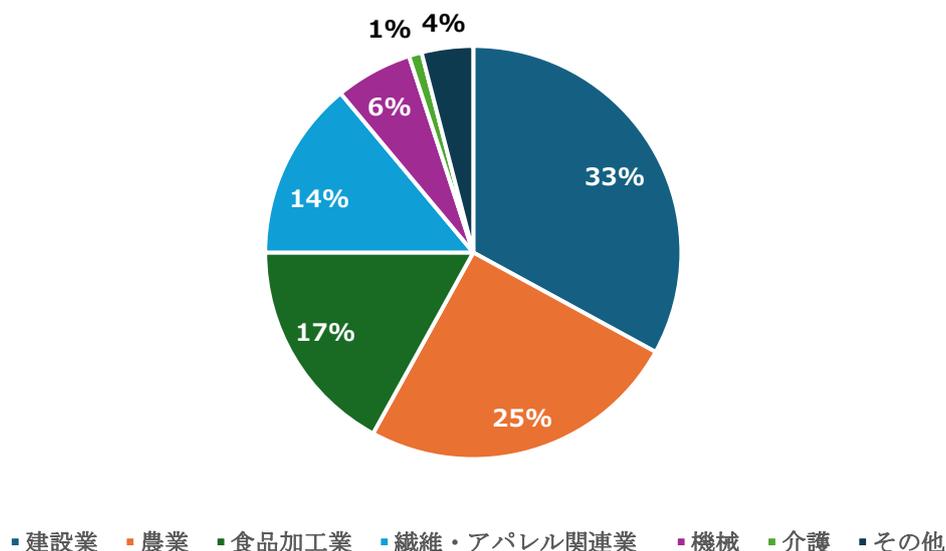
2023年在日本カンボジア人技能実習生及び特定技能者の比率



2023 年、日本で働いているカンボジア人は、技能実習生と特定技能者をあわせて約 2 万人になります。その内訳を見てみると、技能実習生が 86%を占めており、特定技能実習生は 14%となっており、これらは専門分野の人材不足が深刻な日本への直接的な就労が目的と言えるでしょうか。

④ 在日本カンボジア人技能実習生の業種別内訳 (2023 年推定)

在日本カンボジア人技能実習生の業種別内訳 (2023年推定)

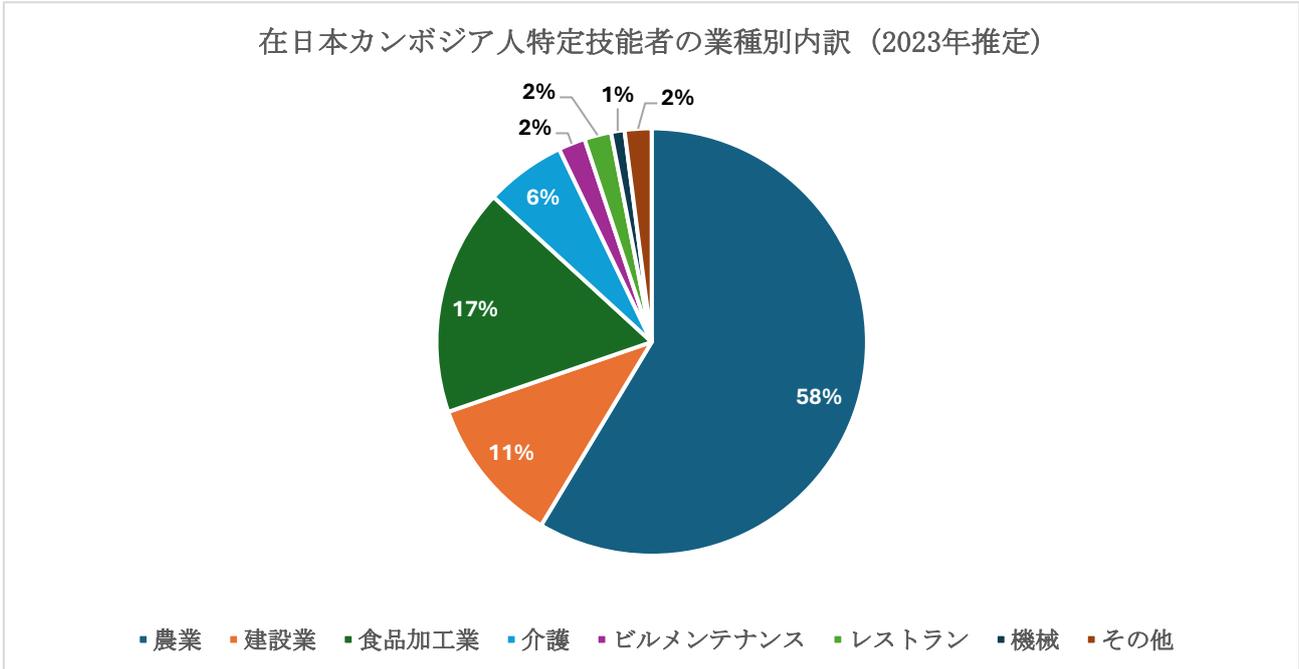


2023 年日本は、約 17,000 人のカンボジア人技能実習生を受け入れた。業種別によると、

- 建設業が 33%で最も多く、次に農業が 25%を占めており、日本経済において重要な役割を果たしています。
- 食品加工業と繊維・アパレル関連業はそれぞれ 17%と 14%を占めており、日本の産業においても重要な位置を占めています。

- 機械、介護とその他の業種は受け入れ人数がまだ少ないですが、増えている一方です。

⑤ 在日本カンボジア人特定技能者の業種別内訳（2023年推定）

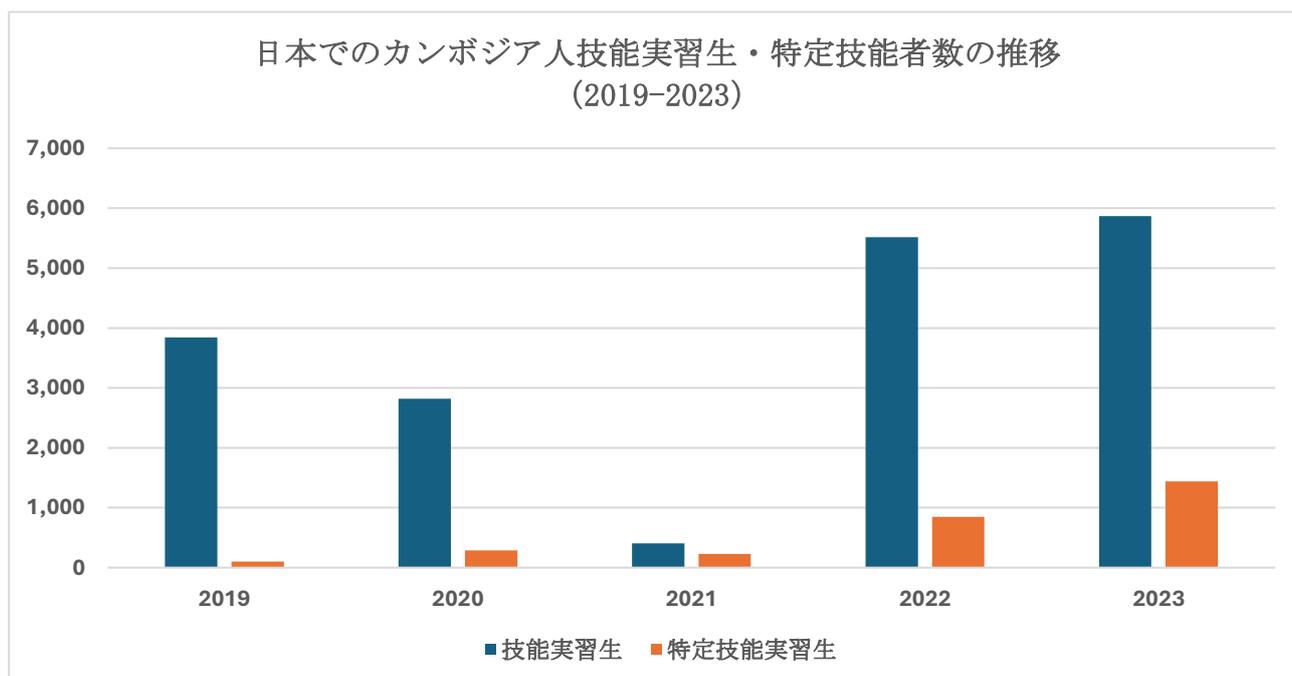


2023年、日本は、深刻な人手不足を補うため、約2,800人のカンボジア人特定技能者を受け入れました。業種別によると、

- 農業が58%を占めておることから見ると、高齢化や熟練労働者の需要による人手不足問題が深刻であることがわかります。
- 食品加工業は17%、建設業は11%と続いています。
- 介護やビルメンテナンスなどは受け入れ人数がまだ少なく、残りの5%は、他の業種（機械、電気など）に分散しています。

カンボジアでは、農業、ビルメンテナンス、介護、飲食など特定技能者として働くための技能を証明する試験センターが設置されており、今後、さらに多くの業種に広がる可能性があります。

⑥ 2019年-2023年日本でのカンボジア人技能実習生・特定技能者数の推移

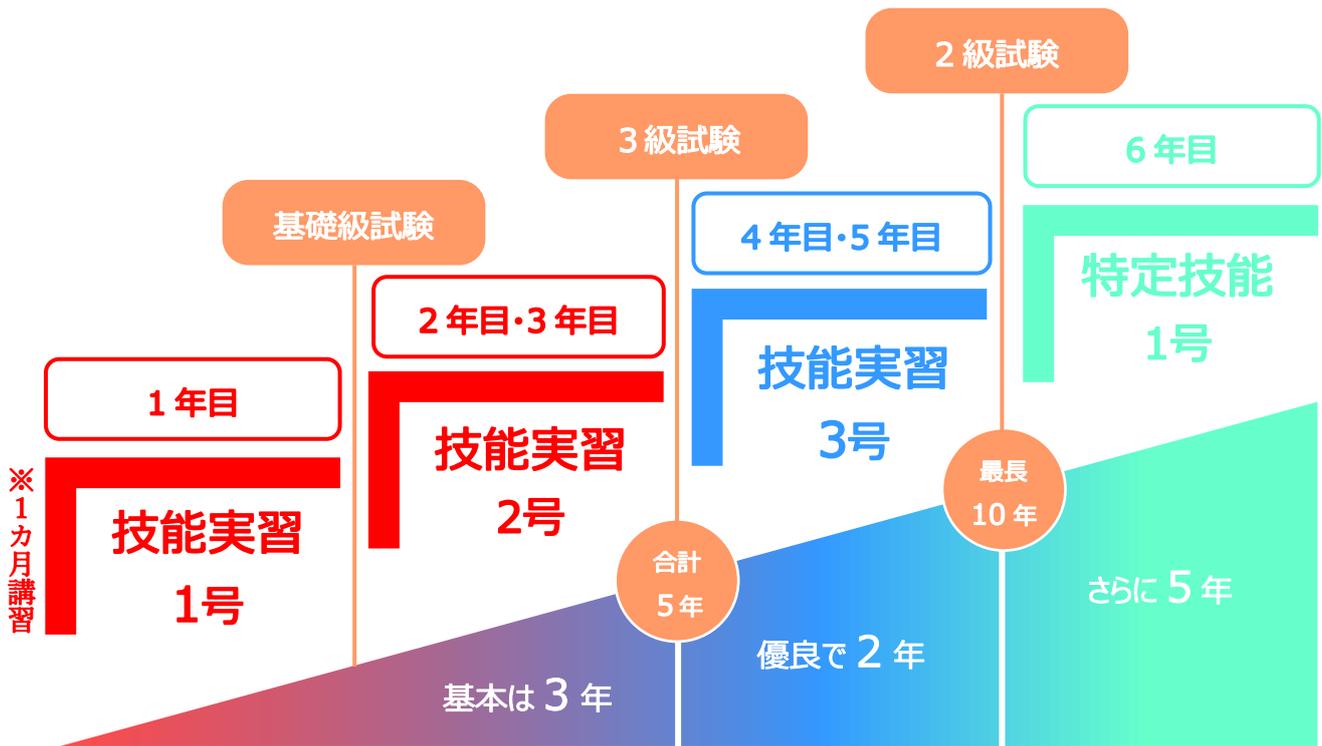


2019年から2023年にかけて、カンボジア人が日本へ渡航する技能実習生と特定技能者の数は、どちらも顕著な増加傾向を示しています（新型コロナウイルスの影響を除く）。具体的には、技能実習生は2019年の約3,800人から2023年には約5,900人と増加し、特定技能者も同様に、2019年の約100人から2023年には約1,400人と上昇しました。この傾向は、日本が技能習得と雇用機会を求める人材にとって魅力的な渡航先となっていることを示唆しており、日本の労働市場における需要と、カンボジアからの潜在的な労働力供給の増加を反映しています。

⑦ 技能実習生と特定技能の違い

項目	技能実習制度	特定技能実習生制度
目的	技術移転・国際貢献	人手不足補充
受入れ可能職種	141 職種 (2023年10月1日現在)	14 業種・264 職種 (2023年10月1日現在)
在留資格	技能実習1号・2号・3号	特定技能1号・2号
入社までの期間	6ヶ月以上	2 - 5ヶ月
滞在期間	3年（最長5年）	5年（特定技能2号の場合は上限なし）
就労時間	1日8時間・週40時間	1日8時間・週40時間
賃金	最低賃金の100%以上	最低賃金
転職	不可	特定技能1号は原則可能
家族滞在	不可	特定技能1号は条件を満たすと可能
人数枠	あり	なし
受入れ企業の要件	技能実習計画の作成、送り出し機関との契約、実習生の受け入れ体制の整備等	特定技能外国人の雇用計画書の作成、監理団体との契約、特定技能外国人の雇用管理体制の整備等

技能実習の滞在期間



4. なぜカンボジア？



若くて活気があり、向上心のある魅力的な人材

カンボジアは、企業にとって魅力的な若い労働者を多く擁する国です。



若くて活気のある人材

- 人口の 60%以上が 35 歳未満 という、若い人口構成を誇ります。
- 労働人口の 80% が何らかの形で働いており、すぐにでも活躍できる人材が豊富にいます。

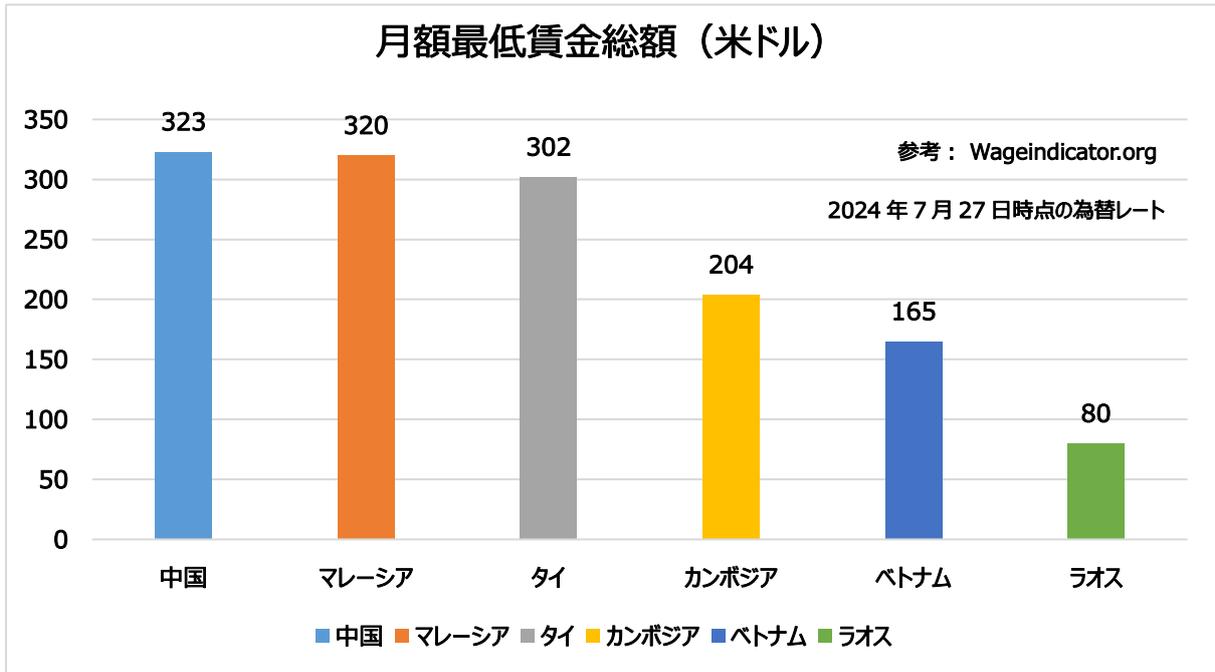
向上心旺盛な人材

カンボジアの識字率は急速に上昇しており、2019 年には 約 90% に達しました。

- 2008年以降、第2次産業（製造業など）と第3次産業（サービス業など）の雇用は1.6倍に増加しています。
- 高い能力を持つ人材が続々と輩出されており、幅広い分野で活躍が期待できます。

競争力のある労働コスト

- カンボジアは、アジアの中でも競争力のある賃金水準の高い国の一つです。
- 月額最低賃金は204ドル（2024年7月現在）となっています。
- 下記のグラフは、カンボジアの最低賃金の推移を示しています。



元首相フン・センからの技能実習生への訪問

5. MLVT によるカンボジア人技能実習生・特定技能者支援

カンボジア労働・職業訓練省（MLVT）は、カンボジア人技能実習生・特定技能者が日本での生活と就労を円滑に進められるよう、様々な支援を実施しています。

信頼できる送り出し機関の紹介

MLVT は、信頼できる送り出し機関を日本の監理団体に紹介しています。送り出し機関は、技能実習生・特定技能者の募集、選考、日本語教育、日本での生活オリエンテーションなどを実施します。

MLVT 日本語能力試験・オリエンテーションセミナーの実施

MLVT は、技能実習生・特定技能者が日本へ出発する前に MLVT 日本語能力試験を実施したり、日本語能力を証明したりすることに加え、MLVT オリエンテーションセミナーを実施します。この実施は、技能実習生・特定技能者が仕事に従事するために必要な日本語能力を備えていることを確認しながら、日本での生活習慣、文化、労働に関する情報を提供し、日本での生活にスムーズに適応できるように支援します。



MLVT 労働アタッシェの派遣

MLVT は、MLVT 労働アタッシェを日本に派遣し、技能実習生・特定技能者の相談や支援を行っています。MLVT 労働アタッシェは、日本語とカンボジア語を話せる職員であり、技能実習生・特定技能者が抱える様々な問題について相談を受け、解決に向けて支援します。

サポートセンターの設置

MLVT は、日本全国にサポートセンターを設置し、技能実習生・特定技能者へのフォローアップ支援を行っています。サポートセンターでは、生活相談、就労相談、医療相談などを提供し、技能実習生・特定技能者が日本で安心して生活できるよう支援します。

6. カンボジア人技能実習生の日本への受け入れプロセス

カンボジア人技能実習生の日本への受け入れプロセスは、大きく分けて2種類あります。

1. 企業単独受入れ

企業が自社で直接、技能実習生を受け入れる方式です。日本に法人を設立している日系企業などが、自社に必要な人材をカンボジアから受け入れる場合にこの方式がとられます。

2. 監理団体受入れ

監理団体と呼ばれる組織を通して、技能実習生を受け入れる方式です。カンボジアには多くの監理団体が存在しており、技能実習生の募集、選考、日本での監理業務などを担っています。

実務上は、多くの場合、企業は監理団体を通して技能実習生を受け入れます。監理団体は、企業と技能実習生との間のトラブル防止や、技能実習生の生活・学習面のサポートなどを行うため、企業にとってメリットのある方式です。

① 技能実習生の受け入れプロセス



特定技能実習生の受け入れプロセス



7. 日本の受け入れ企業とカンボジア人技能実習生・特定技能生の声：

1. 日本の受け入れ企業

①. 防水施工会社 T 社長様（静岡県）：

外国人技能実習生制度を始める上で国選びが重要かと思いますが、弊社が条件にしたのが「仏教国」であること。カンボジア人たちは勤勉で働き者、とても家族思いで感謝と奉仕の心を持ち合わせた素晴らしい人々です。生活習慣はもちろん国によって異なりますが、宗教観が同じだと価値観の共有が可能になります。遠い異国で親元を離れて働いていると、苦しい時が幾度もあると思いますが、自分の為ではなく、大切な誰かの為に頑張っている人たちは困難もきっちり乗り越えます。私は、実習生を面接する時に「笑顔が素敵な人」を選んでいきます。彼らが見せるスマイルには利他の精神が溢れています。どうか、実習生と働くことを検討されている皆様が、私たちと同じく素晴らしい人材と出会えますように！

②. 食肉加工会社 I 社長様（大阪府）

弊社は、関西で食肉加工業を営んでおります。カンボジアは現在も発展途上国で貧困の差が激しい国です。その中で、日本に来て技術を学び自国の経済発展に挑戦したいというカンボジア人がいることを知って弊社でも役立てることはないかという気持ちになり外国人技能実習生の受け入れを決断しました。実際、実習生として来てもらって、彼らは母国の家族をととても大切にしている、とても真面目に実習に取り組んでくれて日本人社員もいい刺激を与えてくれています。外国人ということで言語の壁はありますが、グローバル経済交流協同組合さんのサポートのおかげでいろいろ乗り越えられています。彼らは3年ないし5年で実習を終えて帰国してしましますが、日本での経験を母国で活かせるようこれからもお互いに頑張っていこうと思っています。

2. カンボジア技能実習生

①. Ung NT さん（大阪市、工業梱包）：

私は2020年に日本に来ました。技能実習生として5年間になりました。日本からたくさん知識と技術を得ました。同僚の日本人の方々は私に真面目に仕事することの大切さや思いやる心を教えてくれました。日本は秩序正しく規律ある国であり、日本人は優しいです。私は日本人が好きで、日本で生活が大好きなので、また新しい在留資格「特定技能」で働きたいです。これから、日本からいろいろなことを学んで、自分を成長させ、将来母国の重要な人材になりたいと思っています。

②. Lay LH さん（京都府、食品加工）

私は日本文化に興味があって、3年前に技能実習生として京都に来ました。食品加工の仕事は毎日する仕事が多いので、覚えるのが精一杯です。でも、会社の方々がていねいに教えてくれるので、少しずつ仕事できるようになりました。お昼休みの時、日本人の同僚が私に仕事に使う単語や簡単な日本語を教えてくれます。この間も社員旅行で温泉に行ってきました。雪を見るのも、温泉を体験するのも初めてでした。会社では、社長をはじめ、皆親切で、いつも励ましてくれます。私は技能実習生5年間が終わったら、カンボジアに帰国して、日本で学んだ食肉加工技術を活かし、カンボジアで起業することを考えています。

3. カンボジア特定技能実習生

①. SENG VK 特定技能1号 (外食業)

私は特定技能生1号として3年間日本で働き、日本から多くの知識と仕事の経験を得ました。日本人は私に勤勉に働くことの大切さ、そして日本人の相手の思いやる心を教えてくれました。きちんとしたライフスタイル、清潔な環境、相互尊敬。日本は秩序正しく規律ある国であり、日本人は明るく親切です。私は日本人が好きで、日本で生活が大好きなので、また新しい在留資格で日本で働きたいです。これから、日本からいろいろなことを学び、自分の成長させ、将来はカンボジアに役に立つ人間になりたいと思います。一生懸命働き、もっと日本語を学びます。

②. SON DR 特定技能1号 (農業)

私は2022年に農業分野の特定技能評価試験と国際交流基金日本語基礎テストに合格して、農業の特定技能生として日本に働きに来ました。実家でも野菜を育てましたが、日本のやり方とまた違っていています。カンボジアでは農地と水の質を検査せずに、野菜種子を巻いて肥料や農薬をたくさん与えて栽培しています。日本ではまず土壌と水質検査を行なって、その結果に基づいて肥料と農薬の使用量を決めます。日本の農法がコストでも収穫量でも多くて、安全な野菜ができます。私は日本で勉強した日本農法をカンボジアで生かして農業ビジネスをしようと思っています。



8. カンボジア日本希望協会（CJKA）について

1. はじめに

概要：カンボジア日本希望協会（CJKA）は、カンボジアと日本の二国間関係を促進し、特に貿易、雇用、教育、観光の分野での協力を強化することに専念する組織です。また、二国間協力を促進し、社会的な繋がりを深め、両国間の相互理解を促進する橋渡しの役割も果たしています。

ミッション：投資のための支援環境を整え、教育と雇用の機会を促進し、正確で前向きな情報を発信し、カンボジアと日本の文化的および社会的な繋がりを強化することで、両国間の関係を育み、強化することにより、両国の社会経済発展と相互理解に貢献すること。

ビジョン：カンボジアと日本の関係を強化し、繁栄と経済成長、文化交流、教育の機会を育むことで、両国の人々の生活にポジティブな影響を与えるためのリーディング組織となること。

2. 主旨

- 関係強化：カンボジアと日本のコミュニティ間の二国間関係を強化し、拡大する。
- 貿易と投資の促進：ビジネスパートナーシップと協力を促進し、日本がカンボジアへの投資を促進するために会議やセミナーを開催する。
- 文化交流促進：日本でカンボジアの文化遺産をカンボジアで日本の文化遺産を紹介するフェスティバルや文化プログラムを企画する。
- 教育への強化：教育および社会的なイニシアティブを支援する。

3. 目標

- 誘致の強化：日本の投資家をカンボジアに引き付けるための戦略的洞察を提供し、投資フォーラムやビジネスマッチングイベントを企画する。
- 情報共有：カンボジアと日本に関する正確な情報を発信する。
- 関係強化：協会のプロフィールを高め、文化交流を促進するためのプログラムや活動を展開する。
- 就職機会の促進：カンボジア国民向けの質の高い就職機会を日本で特定し、促進する。
- 奨学金の情報発信：カンボジアの学生が日本で学ぶための奨学金情報を発信する。
- 慈善活動の支援：恵まれない学生の授業料を支援するために慈善団体と提携する。

4. 連絡先：

- Address: 155 TK Royal One, Unit# 3-C, Russian Federation Blvd, Sangkat Tuek Laak1, Khan Toul Kork, Phnom Penh, Cambodia
- Home Page: www.cjka.net
- e-mail: info@cjka.net